

本部広報2016-045

2016年10月14日

自転車同士の出会い頭衝突による危険性について ～テスト結果をホームページに公開～

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 矢代隆義）は、自転車同士の出会い頭衝突事故について検証を行い、その結果を10月14日よりホームページに公開しました。

自転車は事故の際、頭部を地面などに強打して、致命的なケガを負う危険性があります。そこで、自転車の事故類型で一番多い「出会い頭衝突」を想定した実験を行い、その衝突の危険性を検証しました。

この検証では、母子3人乗り自転車（幼児2人同乗基準適合車）と男性が乗る自転車が出会い頭衝突（速度は20km/h）した際の頭部損傷基準値（HIC^{※1}）をヘルメットの着用有無で比較しました。（計測対象は母子3人乗り自転車の後席子供ダミーと母親ダミーとした）

※1 HIC：衝突や転倒による衝撃が脳に及ぼす影響度を示す目安。



ヘルメット着用有無による後席子供ダミーの頭部損傷基準値（HIC）

テスト結果は、上記の通り、後席子供ダミーの「ヘルメットなし」のHICが15,951で、「ヘルメットあり」の949に比べて約17倍もの高い数値^{※2}になりました。

最も重要な頭部を守るための唯一の安全装備であるヘルメットを着用することで、事故や転倒時の頭部の被害を軽減できます。また、子供は骨の発達が未熟で、より骨折しやすいので、必ずヘルメットを着用するようにしましょう。

また、自転車乗車時には速度超過や一時停止にも注意して、事故そのものを防ぐことも大切です。

※2 幼児ではHICが570以上、成人では700以上の場合、頭蓋骨骨折となる可能性があります。更に、HICが700～2,500になると死亡する可能性があります。

■テスト結果：JAFユーザーテスト（自転車同士の出会い頭衝突）

○自転車同士の出会い頭衝突

動画編：<http://ch.jafevent.jp/detail.php?id=485>

資料編：<http://www.jaf.or.jp/eeco-safety/safety/userstest/bicycle02/detail3.htm>

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。
一般社団法人 日本自動車連盟 広報部
 Tel：03(3578)4920 Fax：03(3578)4912
 E-Mail:koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館